

水素燃焼試験を実施 (平成 26 年 12 月 16 日)



大静高圧(株) 2階会議室

全検協は昨年の 12 月 16 日大静高圧株式会社(白砂清一代表取締役社長・当協会会長)において水素燃焼試験を実施しました。

燃料電池自動車 (FCV) はトヨタ自動車(株)が 12 月に「MIRAI」を発売し、既に相当数の受注があるようです。今後は水素容器が自動車事故などで廃棄処理する場合に備えて残ガス処理及びくず化の手順を研究、検討する必要があります。このような状況の中、経済産業省から高压ガスの残ガス処理等に実績のある当協会に水素燃焼試験の依頼要請がありました。当日は雨が降る寒い日でしたが燃焼試験は順調に行われました。出席メンバーは全検協の技術委員、溶接容器工業会、日本自動車工業会の委員と日本自動車研究所 (JARI) そして経済産業省高压ガス保安室担当官のご出席で総勢 26 名でした。内容は先に燃焼試験を行い JARI より試験結果の説明と画像のプレゼンテーションの形で行われました。試験終了後の打合せにおいて「水素容器くず化処理要領書」は JARI と自工会と共に当協会の一般高压ガス技術委員会が冊子作成することとなりました。

水素燃焼試験写真(一部)

